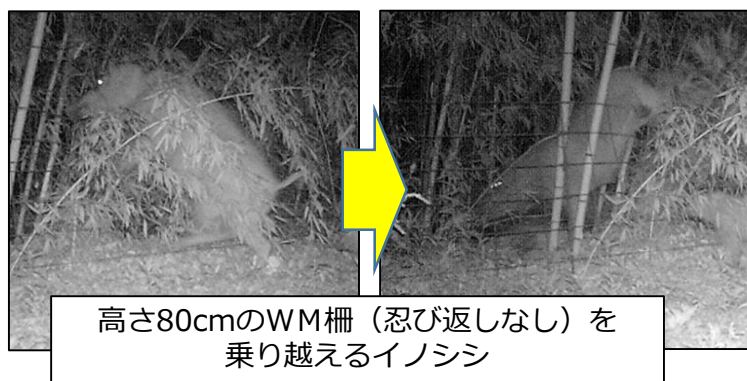
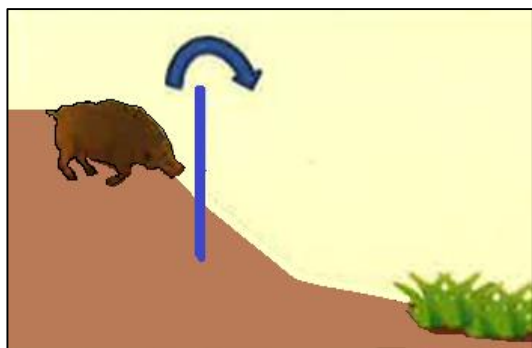


傾斜地における忍び返し柵を活用した イノシシの乗り越え侵入防止対策

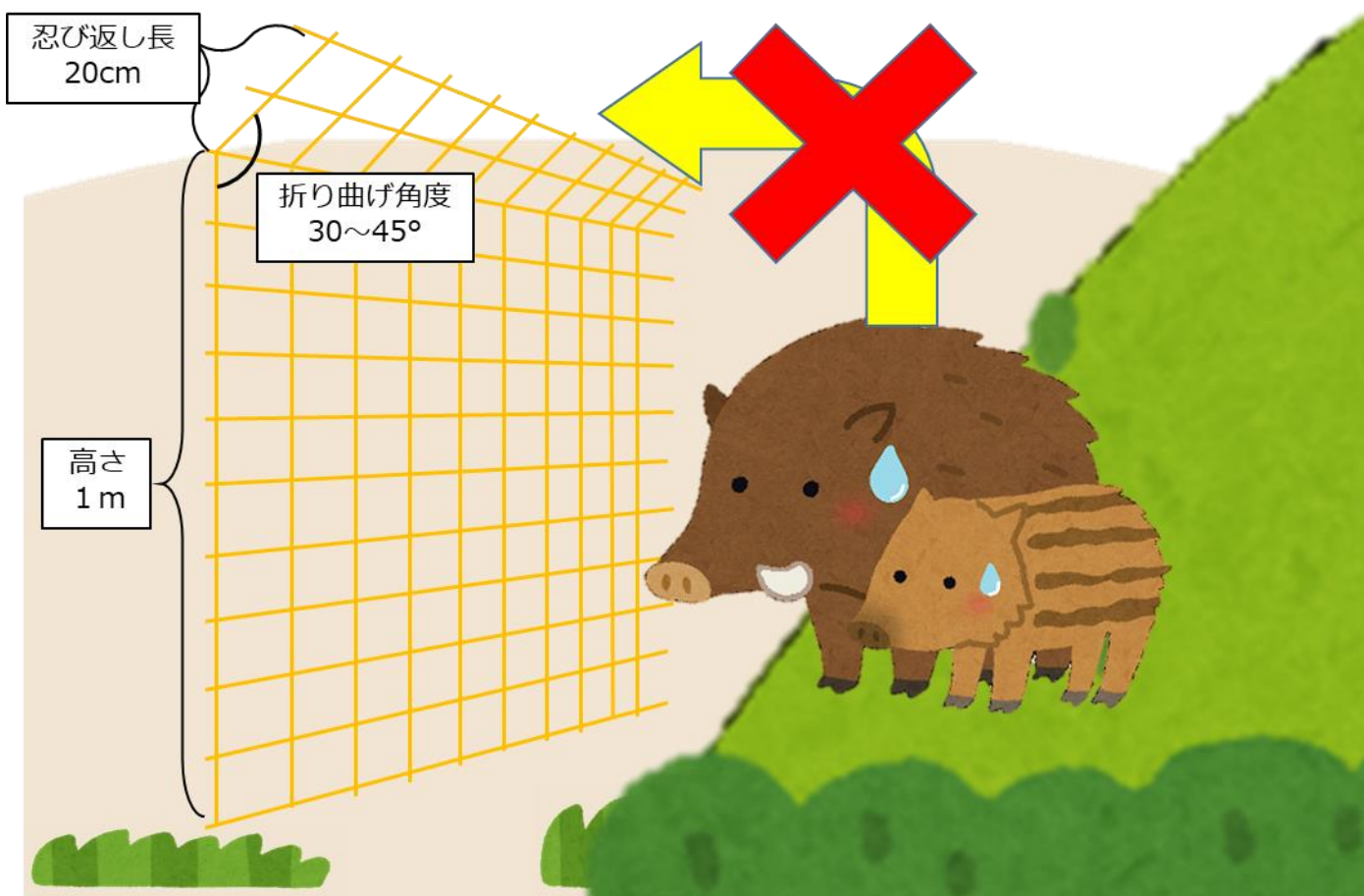
1 取組の背景

- 総社市井山地区のももほ場では、イノシシによる食害や樹体の折損被害に対して、ワイヤーメッシュ柵（以下、WM柵）による侵入防止対策をしているほ場も多いですが、山林部のほ場では周囲が傾斜地となっており、イノシシがWM柵を乗り越えて侵入する等、対策が困難となっています。
- そこで、傾斜地に対してWM柵の上部を外側に折り曲げる忍び返し柵を活用し、侵入防止対策に取り組みました。

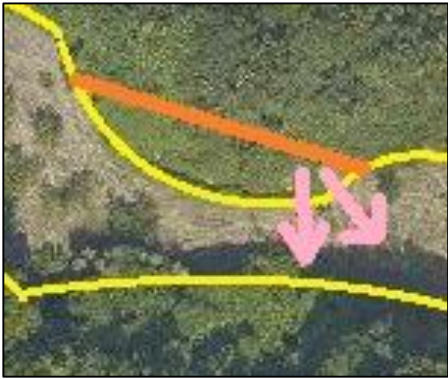


2 実証内容(設置方法)

- 忍び返し柵は、高さ1.2mのWM柵の上部20cmを、30～45°程度折り曲げて作製した。
- 幼獣の出入りを防ぐため、WM柵の目合いは10cm×10cmとした。

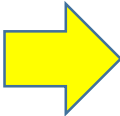


- 毎年、イノシシの侵入が頻発するルート（ピンク色矢印）を遮断するように、オレンジ色の線の部分（約30m）に忍び返し柵を設置した。（左下写真、黄色線は既設のWM柵）
- 忍び返し柵の設置箇所は、右下の写真のとおり外側（画面右側）が傾斜地となっており、イノシシの目線に立つと、柵が低く見え、乗り越えられると感じやすい環境であった。



3 忍び返し柵の作製と作業時間

- 忍び返し柵は、WM柵を地面に置き、高さ1m部分に角材を当て、角材をしっかりと足で踏んで固定しながら、2～4人で柵最上部を引き上げる方法で作製する。
- 4人で作業した場合、柵の準備から作業完了まで1枚当たり20秒程度で実施できた。



4 設置資材(総延長:30m)

(参考価格：税込)

資材名	規格	単価① (円)	数量② (個)	小計①×② (円)
WM柵	1.2m×2m 目合：10cm×10cm 鉄筋直径：5mm	2,218	15	33,270
トンガリ鉄筋	長さ：137.5cm 直径：13mm	274	34	9,316
ステンレス結束線 (●本入り)	太さ：＃21（径0.8mm） 長さ：450mm	360	2	720
資材費合計				43,306

5 実証結果の概要

- 7月上旬から収穫が終了する8月上旬まで、ほ場周辺にイノシシが連日出没していたが、忍び返し柵設置箇所からの侵入は、完全に防ぐことができた。



侵入を諦めたイノシシ